

14時30分解禁

平成24年3月 全国百貨店売上高概況

平成24年4月16日

I. 概況

1. 売上高総額	5,273億円余
2. 前年同月比	14.1% (店舗数調整後/3か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	86社 251店 (平成24年2月対比-2店)
4. 総店舗面積	6,344,869㎡ (前年同月比:-1.9%)
5. 総従業員数	84,746人 (前年同月比:-7.0%)
6. 3か月移動平均値	8-10月 -1.5%、9-11月 -1.6%、10-12月 -0.4%、 11-1月 -0.6%、12-2月 -0.1%、1-3月 4.0%

〔参考〕平成23年3月の売上高増減率は-14.7% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

3か月ぶりに前年同月比プラスとなった。

3月の商況は、前年に東日本大震災の影響を受けた反動が主な要因であるが、特に、発災後しばらくの間、店舗の被災や計画停電で臨時の営業体制を強いられた東北地区と関東地区が伸びを牽引する形で、全国ベースでも二桁増と前年実績を大幅に上回る結果となった。

また、最近の復興ムードや円高・株安の一服感による消費マインドの好転もあって、高級時計、宝飾品、輸入特選雑貨等の高額商材(美・宝・貴:+21.2%)が好調に推移したほか、季節催事のホワイトデー商戦(菓子:+14.3%)についても絆消費を背景に活況を呈するなど、家具を除くほぼ全アイテムで前年比プラスを記録した。

具体的な動向としては、気温低下と天候不順の影響でこの時期主力の春物ファッション商材が出遅れたこと、仙台地区(+170.5%)は統計開始以来最大の伸びを記録したこと、訪日外国人は震災や原発事故の風評がやわらぎ、売上・客数共に大幅増(売上:+89.1%、客数:+98.1%)となったこと等が報告されている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「3月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 上旬は暖かく湿った空気の影響を受けた日が多く、中旬以降は寒気の影響を受けた日が多かったため、寒暖の変動が大きかった。また、低気圧や前線の影響により太平洋側を中心に曇りや雨の日が多く記録的な寡照であった。

(2) 営業日数増減 30.7日(前年同月比+0.4日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(// +1日/土曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した：106店、②変化なし：15店、③減少した：14店、④不明：37店

(5) 3月歳時記(ひな祭り、彼岸、ホワイトデー、卒業・入学、新社会人)の売上(同上)

①増加した：49店、②変化なし：34店、③減少した：11店、④不明：78店

(6) 翌月上見通し(回答店舗数で見る傾向値)

①増加する：42店、②変化なし：79店、③減少する：8店、④不明：43店

全国百貨店 売上高速報 2012年03月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	527,388,667	100.0	14.1 (14.0)
10都市	341,911,282	64.8	13.7 (14.6)
札幌	13,073,835	2.5	4.4
仙台	7,548,182	1.4	170.5
東京	130,625,296	24.8	26.7
横浜	30,035,177	5.7	26.5
名古屋	32,042,228	6.1	2.9
京都	20,542,205	3.9	3.5
大阪	65,528,666	12.4	0.1 (4.4)
神戸	14,243,323	2.7	2.9
広島	11,875,866	2.3	0.3
福岡	16,396,504	3.1	-1.3
10都市以外の地区	185,477,385	35.2	14.9 (12.9)
北海道	3,336,899	0.6	7.3
東北	10,148,226	1.9	46.3 (27.3)
関東	89,938,055	17.1	25.2 (22.8)
中部	13,814,915	2.6	0.9
近畿	17,360,470	3.3	1.8
中国	12,589,121	2.4	2.4
四国	9,874,312	1.9	3.4
九州	28,415,387	5.4	5.2 (3.9)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	527,388,667	100.0	14.1 (14.0)
紳士服・洋品	33,826,219	6.4	23.5 (24.1)
婦人服・洋品	124,013,998	23.5	22.1 (22.0)
子供服・洋品	22,071,816	4.2	8.8 (8.4)
その他衣料品	12,938,500	2.5	0.8 (0.7)
衣 料 品	192,850,533	36.6	19.0 (18.9)
身のまわり品	64,918,442	12.3	18.3 (18.4)
化粧品	29,053,922	5.5	9.2 (9.0)
美術・宝飾・貴金属	22,746,443	4.3	21.2 (21.2)
その他雑貨	22,266,472	4.2	7.3 (7.2)
雑 貨	74,066,837	14.0	12.0 (11.9)
家 具	6,904,143	1.3	-6.7 (-6.4)
家 電	1,797,928	0.3	0.1 (0.0)
その他家庭用品	18,346,902	3.5	11.6 (11.2)
家 庭 用 品	27,048,973	5.1	5.5 (5.4)
生 鮮 食 品	26,966,069	5.1	1.2 (0.4)
菓 子	44,003,373	8.3	14.3 (14.2)
惣 菜	28,936,005	5.5	9.5 (9.1)
その他食料品	36,380,761	6.9	8.1 (7.7)
食 料 品	136,286,208	25.8	8.8 (8.4)
食 堂 喫 茶	15,316,749	2.9	22.1 (24.5)
サ ー ビ ス	5,728,625	1.1	14.8 (14.3)
そ の 他	11,172,300	2.1	5.3 (5.0)
商 品 券	16,991,119	3.2	-18.4 (-18.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 13.7% (店舗数調整後／3か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | 14.9% (〃 ／3か月ぶりプラス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	13.7	8.9	3か月ぶりプラス
札幌	4.4	0.1	2か月ぶりプラス
仙台	170.5	1.0	11か月連続プラス
東京	26.7	6.0	3か月ぶりプラス
横浜	26.5	1.4	4か月連続プラス
名古屋	2.9	0.2	5か月ぶりプラス
京都	3.5	0.2	3か月ぶりプラス
大阪	0.1	0.0	6か月連続プラス
神戸	2.9	0.1	2か月連続プラス
広島	0.3	0.0	2か月連続プラス
福岡	-1.3	0.0	44か月連続マイナス
10都市以外の地区	14.9	5.2	3か月ぶりプラス
北海道	7.3	0.0	17か月ぶりプラス*
東北	46.3	0.7	6か月連続プラス*
関東	25.2	3.9	4か月連続プラス
中部	0.9	0.0	13か月ぶりプラス
近畿	1.8	0.1	2か月連続プラス
中国	2.4	0.1	9か月ぶりプラス*
四国	3.4	0.1	5か月ぶりプラス
九州	5.2	0.3	8か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品の全品目が57か月ぶりのプラス。中でも、雑貨と食料品は2か月連続のプラスとなった。
その他の品目は、家具がマイナスしたが、その他はすべてプラスとなり、特に紳士服・洋品、婦人服・洋品、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品、菓子が二桁プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	14.1	—	3か月ぶりプラス
紳士服・洋品	23.5	1.4	4か月連続プラス
婦人服・洋品	22.1	4.9	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	8.8	0.4	2か月ぶりプラス
その他衣料品	0.8	0.0	49か月ぶりプラス
衣料品	19.0	6.7	3か月ぶりプラス
身のまわり品	18.3	2.2	3か月ぶりプラス
化粧品	9.2	0.5	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	21.2	0.9	5か月連続プラス*
その他雑貨	7.3	0.3	52か月ぶりプラス*
雑貨	12.0	1.7	2か月連続プラス
家具	-6.7	-0.1	8か月連続マイナス
家電	0.1	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	11.6	0.4	8か月ぶりプラス
家庭用品	5.5	0.3	8か月ぶりプラス
生鮮食品	1.2	0.1	2か月連続プラス*
菓子	14.3	1.2	2か月連続プラス*
惣菜	9.5	0.5	11か月連続プラス*
その他食料品	8.1	0.6	5か月ぶりプラス*
食料品	8.8	2.4	2か月連続プラス
食堂喫茶	22.1	0.6	3か月ぶりプラス
サービス	14.8	0.2	2か月連続プラス
その他	5.3	0.1	9か月ぶりプラス
商品券	-18.4	-0.8	13か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成24年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年4月16日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,306億円余
2. 前年同月比	26.7% (3か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭35.8%(88.3%) : 非店頭-16.2%(11.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	915,720㎡ (前年同月比:-2.3%)
6. 総従業員数	18,654人 (前年同月比:-8.4%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 -2.8%、9-11月 -2.8%、10-12月 -1.4%、 11-1月 -1.7%、12-2月 -1.3%、1-3月 6.1%

〔参考〕平成23年3月の売上高増減率は-21.5% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

- (1) 昨年は震災の影響で、都内各店共に臨時休業や営業時間短縮などを実施したが、今年はその反動で入店客数が軒並み30%~40%増となった。反動要因のほかにも被災地支援イベントなど趣向を凝らした催事が積極展開され店頭は賑わいを見せた。
- (2) 東京地区では高額品の伸びが特に目立つが、高級時計を含む美術・宝飾・貴金属が5割増(前年比で+49.1%、前々年比でも+0.9%)となった他、輸入雑貨や高額旅行などもよく動いた。
- (3) 中旬までの低温と雨がちな天候の影響で春物商材が苦戦した一方、マフラー、ブーツ、スプリングコート、雨傘など防寒アイテムやレイングッズが好調に推移した。
- (4) 昨年は動きのなかった新生活需要(卒業・入学、新社会人)が盛り上り、婦人・紳士共に対象商材となるスーツ、鞆、靴、革小物などが好調であった。
- (5) 4月中盤までの商況は、遅れていた春物衣料の動きが本格化したこともあって、都内ほぼ全店で前年実績をクリアしており、二桁増の店も多くある。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比-1.2日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 20店、②変化なし: 1店、③減少した: 0店、④不明: 0店
- (3) 3月歳時記(ひな祭り、彼岸、ホワイトデー、卒業・入学、新社会人)の売上(同上)
 - ①増加した: 9店、②変化なし: 1店、③減少した: 1店、④不明: 10店
- (4) 翌月上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 11店、②変化なし: 7店、③減少する: 1店、④不明: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年03月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	130,625,296	100.0	26.7
紳士服・洋品	9,793,044	7.5	46.5
婦人服・洋品	27,369,384	21.0	47.7
子供服・洋品	5,377,646	4.1	17.3
その他衣料品	2,447,805	1.9	-12.1
衣 料 品	44,987,879	34.4	38.1
身のまわり品	17,282,423	13.2	39.6
化粧品	6,979,187	5.3	22.2
美術・宝飾・貴金属	6,750,422	5.2	49.1
その他雑貨	6,809,752	5.2	6.0
雑 貨	20,539,361	15.7	23.3
家 具	2,108,317	1.6	-28.3
家 電	1,072,510	0.8	25.2
その他家庭用品	4,967,526	3.8	22.9
家 庭 用 品	8,148,353	6.2	4.0
生 鮮 食 品	4,747,361	3.6	11.4
菓 子	10,393,497	8.0	33.0
惣 菜	6,542,587	5.0	21.7
その他食料品	8,748,580	6.7	6.0
食 料 品	30,432,025	23.3	18.4
食 堂 喫 茶	3,343,689	2.6	53.9
サ ー ビ ス	2,303,139	1.8	7.2
そ の 他	3,588,427	2.7	-1.5

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	4,205,311 千円	-47.5
従 業 員 数	18,654 人	-8.4
店 舗 面 積	915,720 m ²	-2.3

営 業 日 数	31.0 日	前年	29.8 日
---------	--------	----	--------

II. 商品別の動き

主要5品目では、全国同様、衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品の全品目が49か月ぶりのプラス、雑貨と食料品も2か月連続のプラスとなった。その他の品目は、その他衣料品と家具がマイナスしたが、一桁プラスはその他雑貨とその他食料品で、その他の品目はすべて二桁のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	26.7	—	3か月ぶりプラス
紳士服・洋品	46.5	3.0	6か月連続プラス
婦人服・洋品	47.7	8.6	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	17.3	0.8	2か月ぶりプラス
その他衣料品	-12.1	-0.3	47か月連続マイナス
衣料品	38.1	12.0	3か月ぶりプラス
身のまわり品	39.6	4.8	5か月ぶりプラス
化粧品	22.2	1.2	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	49.1	2.2	2か月連続プラス*
その他雑貨	6.0	0.4	7か月ぶりプラス*
雑貨	23.3	3.8	2か月連続プラス
家具	-28.3	-0.8	12か月連続マイナス
家電	25.2	0.2	2か月連続プラス
その他家庭用品	22.9	0.9	3か月ぶりプラス
家庭用品	4.0	0.3	4か月ぶりプラス
生鮮食品	11.4	0.5	3か月連続プラス*
菓子	33.0	2.5	2か月連続プラス*
惣菜	21.7	1.1	8か月連続プラス*
その他食料品	6.0	0.5	14か月ぶりプラス*
食料品	18.4	4.6	2か月連続プラス
食堂喫茶	53.9	1.1	7か月ぶりプラス
サービス	7.2	0.2	2か月連続プラス
その他	-1.5	-0.1	9か月連続マイナス
商品券	-47.5	-3.7	11か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>